

作成者 松岡

【2016 年度の総括】

① 収支状況 (表中の単位：千円)

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	28,381	97.0	➡
支出	42,670	103.3	➡
経常収支差額	-14,289		➡

評価：



② 職員配置と研修 (職員数は 2017 年 1 月現在)

職員配置：地域活動支援センター 3 人・計画相談 3 人

研修：地域包括支援センター・居宅介護(なごみ CP)との合同スキルアップ研修《2ヶ月に1回実施予定》

③ 事業内容

【地域活動支援センター】 サロンの在り方をともに考えながら、総合相談の質や体制向上を目指す。

【計画相談】本人の望む生活のケアマネジメントを基本として、正確な実務管理を行う。

【福祉教育・住民交流】しょうがいのある方や高齢者の方が安心して暮らせる地域づくりのために、出来る限り、年間スケジュールを組んで、法人内外との協働で啓発、交流を進めていく。

【ボランティア】利用者とボランティアの出会いの機会として意義を中心におきつつ、活動者自身の自己実現、活動が定着できるようなフォローアップも行っていく。

【退院促進事業】地域移行支援の活用における政策提言を行いながら、地道なアプローチを継続。

【2017 年度の計画】

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	26,565	➡	
支出	35,646	↓	事業継承のコロたま倶楽部への移行職員分の減員

② 主課題

予算・体制を鑑みながら、実務レベルでのワンストップの相談窓口の機能を果たすため、業務全体の見直しおよび、ジェネラリストソーシャルワークをめざし、アセスメント力向上のための OJT & 研鑽を重ねる。同時に人権意識の醸成もはかる。本人主体の自己決定支援や、地域社会への啓発、政策提言のためにも、ふうがでの実践を言語化し、地域活動支援センターの意義を伝えていく。

③ 年間事業計画 (予定)

秋	秋の遠足・日帰りバス旅行	夏	交流会(サマーカーニバルなど)
12 月	クリスマス会・大掃除	随時	地域交流イベント(映画会など)
2 ヶ月毎	相談員・CM 向け自主研修		